

「未来を担う子どもたちに、私たちができること」

2015年6月27日下関市社会福祉センター

少子化の現状

講師 佐伯和也
(下関市こども未来部部長)



アンケート
から

- ・少子化の現状とその流れによる施策について、参考になることが多々ありました。考えさせられる所が多いです。
- ・大変参考になりました。少子化対策にしっかり取り組む必要があると感じました。
- ・やっと「こども園」ができたのだと実感。兄弟姉妹で通園できるので大変楽になり、もう一人居てもと考える若い人が居るのでは…。
- ・内容が広すぎて、まとまりにくかった。少子化に対して、いろいろな形でもっと真剣になってほしい。
- ・出生、死亡という自然要因では人口減少を食い止めることは無理なら、仕事や子育て支援等の社会要因によって人口増を図るべき。成功している他の地域に学んだらどうでしょうか。(周防大島町や佐賀など)
- ・内容が多くあり過ぎて、理解し切れない人がいたのでは…？

- ・言葉や文章としては言えるけれど、実際には活動、運営がされていないように思われました。
- ・子ども・子育て支援事業について、どれだけの親が知っているのでしょうか。何か説明があるのでしょうか。
- ・パワーポイントによる下関の現状に、これからどう手を打っていくか！！ 人口減少を防ぐために、こども未来部としての方策はどうか。
- ・いろいろの事業の変更については、住民に説明はできていますか（父兄達に）新しい保育内容についてよく分かりました。
- ・合計特殊出生率（平成17～24年）の推移で、山口県・全国と比較した場合下関市がもっとも低く、これが下関市の課題だと言われました。経済苦、仕事と子育ての両立、健康面、教育、環境等の要因が考えられるそうですが、こうした面をもっとお聞きするとよかったです。
- ・国や市の政策についての説明はよく分かりましたが、下関市民、子育てをする母親たちの生の声や要望で市の政策を決定するという市民目線が弱いと感じました。
- ・“少子化社会”を好転させるために、協力できることをどんどんやっていきたい！
- ・若者が働きやすい、夢が持てる下関になってほしいと思いました。
- ・今の子どもたちの教育環境は素晴らしいと思った。下関の未来のことを思うと寂しい。私たち老人は何をすべきか考えたい。

